

# 元気な山寺!!

## 山寺門前町歩行者天国

～山寺マルシェ 2022 開催～



令和4年10月29(土)、30日(日)に、山寺全体と山寺の景観でお客様をもてなすイベント『歩行者天国山寺マルシェ』(主催山寺観光協会)が山寺宝珠橋・門前町を中心に開催された。両日ともまずまずの天候に恵まれ、キッチンカー18台を含む54の出店を得て、

県内外から沢山のお客様でにぎわった。今後、このイベントの反省を踏まえ、継続実施できるように考えていきたい。



## 「Yamaderans」本格始動

～山寺の英語ガイド～

インバウンド(外国人訪日客)の増加に向けて、山寺観光協会内にインバウンド部を立ち上げ、遠藤正明部長、後藤麻衣さんを中心に様々な課題解決に取り組んだ。手始めに、山寺に造詣の深い翻訳家リサ・ソマーズさんに英語のガイドマニュアル作成の協力を求め、英語ガイドスタッフを募集。ガイドスタッフは、山寺の英語ガイドのマスターの他に参拝のマナーや安全両面に関する研修を重ねた。

英語ガイドは「Yamaderans」(ヤマデランズ)と命名。お披露目の祈願法要を令和4年7月13日に立石寺根本中堂で行い、全員赤い半纏で登場した。8月には、スペインからお越しのお客様に「Yamaderans」のガイドを堪能してもらった。今後も、宣伝活動を積み重ね、インバウンドガイドオフィアの更なる誘引を図っていきたい。



erans」のガイドを堪能してもらった。今後も、宣伝活動を積み重ね、インバウンドガイドオフィアの更なる誘引を図っていきたい。

### 三情報 耳よりな話

◎令和4年7月16日、山形花笠伝承会から連が、山寺で栽培されている満開の紅花畑を背景に花笠舞踊等を披露。会場に集まった山寺の方々、観光客から「すてきだねえ」との声や大きな拍手で盛り上がった。最後に、山寺小中の子ども達がたから連メンバーの手ほどきで一緒に花笠踊りを楽しむことができた。



### ◎メロディー道路完成

山寺へと向かう大森赤石トンネル南側の市道約230m区間に、自動車が走行する際にタイヤと路面の摩擦で「花笠音頭」を奏でる「音響道路」が敷設完成した。

### ◎山形市コミュニティサイクル開設

令和4年10月3日からスマホ等を使用し、簡単な手続きで24時間(一部を除き)自由に借りて、自由に返却できる電動自転車貸し出しサービス(有料)が運用開始した。山寺のサイクルポートは、宝珠橋立谷川河川緑地公園入口に設置されている。





発刊!!

# 『山寺ふるさと散策』

アレッ!～こんなところに、こんなものが～』



発行：山寺地区振興会

「きざはし会」は、令和5年から山寺観光協会（インパウンドガイドを含む）の山寺観光ガイドの日本語分野で活動する。

## 今味わう、先哲の言葉

萬燈行

立石寺住職 清原正田

すこし前の思想家に、安岡正篤という人がおります。その方の文の一部を紹介します。「我々はまず我々の周囲の暗を照らす一燈になりましょう。手のとどく限り、至る所に燈明を供へましょう。一人一燈なれば、萬人萬燈です。日本は、たちまち明るくなるでしょう。」

会執行部の方々の協力で各町内の史跡等を巡った。

『山寺ふるさと史跡巡り・散歩』を月刊やまでら館に8回に亘って連載。「いい連載だね。」「知らないことが町内にいっぱいあるね。」「手に持って、巡回できる冊子にできたらいいな。」と、好評を得ることができた。

そこで、連載に、加筆・修正を加え、冊子名を『山寺ふるさと散策 アレッ!～こんなところに、こんなものが』とし、山形市の「いきいき地域づくり支援事業」の一つに取り上げてもらい、発刊することができた。

事業企画が膨らみ、この冊子を3月末までに、全戸に配布。また、やまでら館ホールで編集委員との「スライド・トークショー」も開催した。

春爛漫の時節に冊子を手にも、まずは自分の町内から、興味・関心のある所を家族と共に巡ってみてはいかがでしょう。さらに他町内へと散策を広げていければ「山寺地区・観光山寺の振興発展のエネルギー」になることでしよう。山寺地区の皆さん、元氣を出してふるさと山寺を散策し、コロナ禍で沈滞した気分を吹き飛ばそう!!

## 振興会

※令和4年も新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の中止・規模縮小が余儀なくされた。

◎中止↓(4月) 山寺地区 歓送迎会(5月) ソフトボール・ソフトバレー大会

(10月) 山寺地区文化祭(11月) 令和5年新春初顔合わせのつどい(1月)

◎規模縮小↓(4月) 山寺地区振興会 総会(8月) 山寺地区レクレーション大会(9月) 山寺地区敬老会(10月) 市長を囲む山寺の集い||市政懇談会||

※地域ぐるみの有害鳥獣被害対策  
イノシシやサルなどの野生動物による生活環境被害を防止するため、各町内会と連携して活動した。

◎収穫しない果樹の伐採  
7町内会(中地藏・地藏堂・芦沢・南院・馬形・所部・千手院)の8ヶ所の柿の木や栗の木等を伐採。

◎山形工業高校生徒の協力  
土木化学科の生徒が、日々サル等の被害に悩まされている山寺地区のため、人と動物が共存できる地域の方も住みやすくしたいとの思いから「山寺地区の魅力」と課題を共に考える「活動」の中で、1月14日、千手院と中地藏地内の樹木の伐採作業に協力した。



〈千手院〉

◎山形市地域ぐるみ鳥獣被害対策事業の実施

- ・監視用の小型カメラ2台を購入
- ・有害鳥獣駆除用火花を購入
- ・チェンソーの保守点検を実施

◎鳥獣生息状況調査の実施

県事業でドローンを飛ばし、鳥獣のエサとなる柿・栗等の誘因物や獣道を探し地域の問題点を可視化する「集落環境点検」と「有害鳥獣の生息状況調査」を、10月4日と12月6日の日中・夜間に実施。



〈宮崎〉

◎鳥獣侵入防止柵の整備

国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、4町内会(中地藏・地藏堂・宮崎・馬形)で総延長約11kmの侵入防止柵を整備できるよう進めており、令和5年9月に施工開始予定。

やまでら館の取り組み

※主催事業の開催

- (6月) 遊仙狭トレッキング(8月) 手作りパン教室(9月) ペン立てづくり
- 北面白山登山(10月) 紅葉川溪谷トレッキング(11月) 感謝のクッキー作り・施設見学会

※空調改修工事の実施  
全館の空調改修工事が、12月に完了。



〈山形商業高校の見学〉